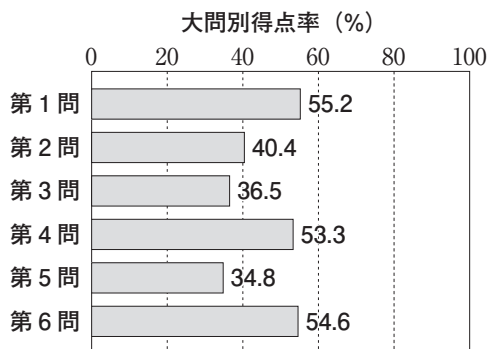
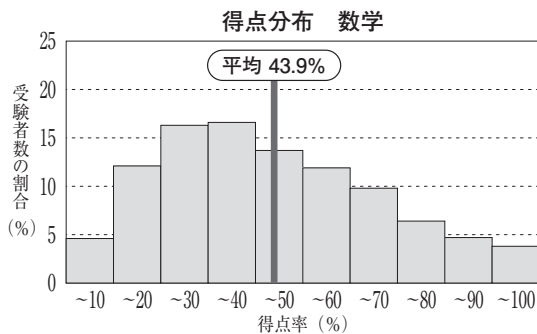


数 学 [高2生部門]

各分野の基礎の定着を徹底して行おう

I. 全体講評

全国統一高校生テスト（高2生部門）数学の出来はどうだっただろうか。今回の全国統一高校生テスト（高2生部門）では、学習の進捗を鑑みて数学ⅠA、および数学Ⅱ（図形と方程式、三角関数）から、全マークシート形式にて出題を行った。今回のような問題は、现阶段では難しいと感じた人も多いだろうが、今後の自分の努力が次の全国統一高校生テストでの得点の伸びとなってそのまま表れるようになっている。次回の全国統一高校生テスト（10月28日（日）実施）も必ず受験し、目標得点を達成してほしい。今回の結果を受け、次の全国統一高校生テストに向けてやるべきことは、当然一人ひとり違うはずだ。得点が異なる人ではやるべきことが異なってくるし、たとえ得点と同じでも間違えた問題によって勉強の仕方は違ってくる。以下の学習アドバイスや合格指導解説授業を参考に、自分のプランにあった学習方法を学び取ろう。



II. 学習アドバイス

◆数学Ⅰ・Aは基礎の定着を徹底的に

数学Ⅰ・Aの基礎、具体的には教科書の例題レベルで曖昧な部分がある人は、まずは徹底的にそこから定着させること。特に、高校数学の土台となる分野である数と式・2次関数に曖昧な部分が残っている人は、早期に必ず完成させよう。

◆数学Ⅱ・Bは基礎を固めながら先取り学習を

数学Ⅰ・Aの基礎が完成したならば、数学Ⅱ・Bの未習分野も合わせて、基礎を固めながら先取り学習しよう。その際、自力で理解できない部分がある場合には、その部分を理解できた部分と分けて、予め問題意識を持っておくようにしよう。

今回の全国統一高校生テスト（高2生部門）で、自分の弱点がある程度ははっきりしたと思うが、結果を一喜一憂するのではなく、学習のペースメーカーとしていくために、次回10月28日実施の全国統一高校生テスト（高2生部門）も引き続き必ず受験しよう。また、分野ごとのより詳しい得意不得意を知りたい人は、8月5日の「大学合格基礎力判定テスト」を受験するとよい。この模試をほぼ3ヶ月に一度受けることで「基礎」の定着度を正確に計ることができる。

さらに、今回の全国統一高校生テスト（高2生部門）に対する合格指導解説授業では、問題に対する解説はもちろん、今後の学習方針についても、明確に述べている。解説を読んだだけでは理解できない部分がある人は必ず、計画的に学習を進めていきたい人も是非、合格指導解説授業を受けよう。